

平成30年入込観光客総評

令和元年6月 箱根町企画観光部観光課

平成30年の入込観光客は、前年に続き大台の2千万人を超えたものの、夏休みの時期に、記録的な酷暑による影響を大きく受けたことから前年を下回る結果となった。

入込観光客総数は、21,260千人（前年比98.8% 260千人の減）と前年から微減した。その内訳は、宿泊客が4,526千人（前年比96.4% 167千人の減）、日帰り客が16,734千人（前年比99.5% 92千人の減）となっている。

1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,928千人（前年比96.4% 145千人の減）、寮・保養所が544千人（前年比98.2% 10千人の減）、そして、その他の施設（民宿・国民宿舎・ユースホステル等、ペンション、キャンプ場・コテージ）が54千人（前年比81.8% 12千人の減）となり、全ての形態で前年を下回る結果となった。

一般客は、3,892千人（前年比94.0% 247千人の減）と減少した一方で、外国人観光客は596千人（前年比109.2% 50千人の増）、修学旅行客は38千人（前年比449.8% 30千人の増）と大きく増加した。

外国人観光客については、訪日外客数が初めて3,000万人を突破した中、当町においても前年を大きく上回る結果となった。また、前年は一部施設のリニューアル工事による休館の影響により減少した修学旅行客についても、工事終了を受け、大きく増加する結果となった。

2 日帰り客について

日帰り客は、前年に比べればごくわずかな減少が見られたものの、概ね前年と同水準となった。

各種交通機関や乗車パスの利用が多く見られ、中でも箱根ロープウェイは、火山ガスによる運行停止基準緩和に伴い年間を通じて運休が減少したこともあり、全般的に好調に推移した。しかしながら、繁忙期となる夏休みの時期の酷暑による出控えの影響を大きく受け、年間日帰り客数としては99.5%とごくわずかに減少した。

3 月別入込み状況について

1月は好天に恵まれ、東京箱根間往復大学駅伝の沿道での観戦、箱根神社の初詣は成人の日の三連休まで賑わいが見られたが、終盤の積雪や、中国の春節が2月になったこともあり前年をわずかに下回った。2月は箱根ロープウェイの火山ガスによる運行停止基準が中旬以降緩和されたことから運休が減少し、ゴールデンコースのスムーズな周遊が可能となったことや、春節による中華圏からの観光客の増加により好調に推移した。3月は新型ロマンスカーの運行が開始されるとともに、ダイヤ改正等により入込が期待されたが、上旬に降雪や強風等の悪天候に見舞われ、卒業旅行の学生グループの姿も少なく国内観光客は苦戦した。一方で、イースター休暇を利用した欧州圏からの外国人観光客は多く訪れた。4月は、老舗ホテルのリニューアル工事が始まったことから苦戦が予想されたが、ゴールデンウィーク前半の3連休と桜需要による外国人観光客の増加により大きく増加した。5月は、政府の働き方改革の推進方針を追い風に休暇取得意欲の向上から混雑が期待されたが、強風等の悪天候による交通機関の乱れなどから、期待通りの結果とはならなかった。6月は、関東甲信で観測史上最も速い梅雨明けとなったが、観光事業者からは国内観光客が少ないとの声も聞かれた。7月、8月は、各地で40℃以上を記録し、全国的に猛暑日が続いたことから、いずれの観光地も厳しい夏となった。例年夏休みの観光客により賑わいが見られる当町においても例外ではなく、避暑地である仙石原や芦ノ湖周辺でさえも30℃を超える日が多く、屋外施設を中心に大幅に減少した。9月は、2度の3連休により賑わいが見られたが、厳しい残暑により全体としては減少した。しかしながら、中韓からの外国人観光客は、前年は10月だった中国の中秋節、韓国の秋夕といった祝日が9月になったことにより賑わいが見られた。10月は、2度の台風が接近した前年と違い天候にも恵まれ、メディアに秋の名所である仙石原すすき草原等が取り上げられたことが多かったことから、日帰り客を中心に平日・休日を問わず賑わいが見られた。紅葉が見頃を迎える11月は、例年より気温が高い日が続き観光しやすい気候となったことから交通機関で混雑が目立った。一方で高温の影響からか紅葉の色づきが良くないとの声も聞かれ、全体としては伸び悩んだ。12月は、国内観光客はさほどの賑わいは見られなかったものの、外国人観光客の後押しを受け、前年をわずかに上回った。

なお、平成30年に最大の入込みがあったのは、前年同様、仙石原すすき草原や紅葉を目当てに多くの観光客で賑わいが見られた11月であり、次いでゴールデンウィークがあり、見頃を迎えたツツジや開花の早まった紫陽花が見られた5月という状況であった。

4 まとめ

平成30年は、過去最高を記録した訪日外客数の動向が、当町においても如実に反映された。しかしながら、7月から9月の記録的な酷暑から夏休み期間

の国内観光客が大きく減少し、観光客総数としては前年を1.2%下回る結果となった。

当町においては、継続的な訪日外国人観光客の増加に加え、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックを見据え、海外優良市場へのトップセールスの実施や民間事業者を交えた積極的なプロモーション活動を推進し国際観光地としての魅力を発信した結果、外国人観光客の増加につながったものと考えている。

平成31年（令和元年）は、新型観光船の就航や、宿泊施設の新規オープンが予定されており、新たな観光資源や受入規模の拡大が期待できる。箱根DMOの調査・研究によれば、箱根観光の主な来訪者である首都圏、特に東京都と神奈川県を中心とした近距離圏の観光客が近年減少傾向にあるとされた。この結果を受け、首都圏からの再奪取を最重要課題として、誘致強化につながるプロモーション等を実施する。また、増加する訪日外国人観光客に対しても、当町に誘客するための更なる受け入れ環境の整備等各種取り組みを実施していく。

平成30年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	284,839	292,581	383,358	323,865	305,674	279,573	305,268	420,176	312,589	338,523	348,904	332,573	3,927,923	96.4%
(内数:一般客)	249,370	242,142	332,539	247,881	253,117	237,673	247,931	368,800	267,734	274,123	295,461	288,756	3,305,527	93.7%
(内数:外国人客)	35,455	49,711	49,930	69,059	47,884	39,470	53,692	44,037	42,136	59,629	50,780	43,386	585,169	109.0%
(内数:修学旅行者)	14	728	889	6,925	4,673	2,430	3,645	7,339	2,719	4,771	2,663	431	37,227	449.1%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	1,511	1,581	2,165	2,166	2,049	1,593	1,867	3,210	1,916	2,042	2,032	1,719	23,851	107.7%
(内数:外国人客)	377	517	869	1,098	901	730	944	1,057	901	994	790	551	9,729	122.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ペンション	136	129	232	114	144	98	120	217	110	116	172	166	1,754	50.5%
(内数:外国人客)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	1,060	933	1,867	1,006	2,384	1,757	2,842	6,901	3,475	2,368	2,040	1,922	28,555	70.3%
(内数:外国人客)	6	4	13	46	112	58	168	90	95	107	77	65	841	318.6%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	22	117	100	391	0	0	0	0	0	630	0.0%
寮・保養所	38,466	30,170	49,306	45,629	44,720	39,109	43,213	69,599	41,893	42,664	50,022	49,005	543,796	98.2%
宿泊客計	326,012	325,394	436,928	372,780	354,971	322,130	353,310	500,103	359,983	385,713	403,170	385,385	4,525,879	96.4%
(内数:外国人客)	35,838	50,232	50,812	70,203	48,897	40,258	54,805	45,184	43,132	60,730	51,647	44,002	595,740	109.2%
(内数:修学旅行者)	14	728	889	6,947	4,790	2,530	4,036	7,339	2,719	4,771	2,663	431	37,857	449.8%
日帰客	953,844	1,087,724	1,656,678	1,723,614	1,773,816	1,472,602	1,037,515	1,623,209	1,070,983	1,355,463	1,957,892	1,020,781	16,734,121	99.5%
観光客総数	1,279,856	1,413,118	2,093,606	2,096,394	2,128,787	1,794,732	1,390,825	2,123,312	1,430,966	1,741,176	2,361,062	1,406,166	21,260,000	98.8%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成20年	4,727,069
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H20年比	対前年増減比(人)
21	4,525,157	95.7%	95.7%	201,912
22	4,646,053	102.7%	98.3%	120,896
23	4,280,639	92.1%	90.6%	△ 365,414
24	4,631,951	108.2%	98.0%	351,312
25	4,716,936	101.8%	99.8%	84,985
26	4,606,751	97.7%	97.5%	△ 110,185
27	3,665,231	79.6%	77.5%	△ 941,520
28	4,338,824	118.4%	91.8%	673,593
29	4,693,513	108.2%	99.3%	354,689
30	4,525,879	96.4%	95.7%	△ 167,634

(2) 日帰客数			平成20年	15,949,931
年	日帰客数(人)	対前年比	対H20年比	対前年増減比(人)
21	15,123,843	94.8%	94.8%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	96.5%	266,104
23	13,390,361	87.0%	84.0%	△ 1,999,586
24	14,806,049	110.6%	92.8%	1,415,688
25	16,140,064	109.0%	101.2%	1,334,015
26	16,583,249	102.7%	104.0%	443,185
27	13,710,769	82.7%	86.0%	△ 2,872,480
28	15,226,176	111.1%	95.5%	1,515,407
29	16,826,487	110.5%	105.5%	1,600,311
30	16,734,121	99.5%	104.9%	△ 92,366

(3) 観光客総数			平成20年	20,677,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H20年比	対前年増減比(人)
21	19,649,000	95.0%	95.0%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	96.9%	387,000
23	17,671,000	88.2%	85.5%	△ 2,365,000
24	19,438,000	110.0%	94.0%	1,767,000
25	20,857,000	107.3%	100.9%	1,419,000
26	21,190,000	101.6%	102.5%	333,000
27	17,376,000	82.0%	84.0%	△ 3,814,000
28	19,565,000	112.6%	94.6%	2,189,000
29	21,520,000	110.0%	104.1%	1,955,000
30	21,260,000	98.8%	102.8%	△ 260,000